

# ソフトウェア品質保証 責任者の会

## 第3期 第1回会合次第

**2014年10月31日(金) 19:00~21:00**  
**ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会**  
**(2014年11月6日改訂)**

# 本日の内容

- 19:00～19:10 オリエンテーション  
本日の流れ  
日科技連からのお知らせ
- 19:10～20:10 講演＋質疑応答(60分)  
「個人依存からの脱却によるプロセス改善事例」  
岩橋正実氏（三菱電機メカトロニクスソフトウェア）
- 20:10～21:00 第3期活動について
  - 活動テーマ案紹介
  - 活動テーマについての討議

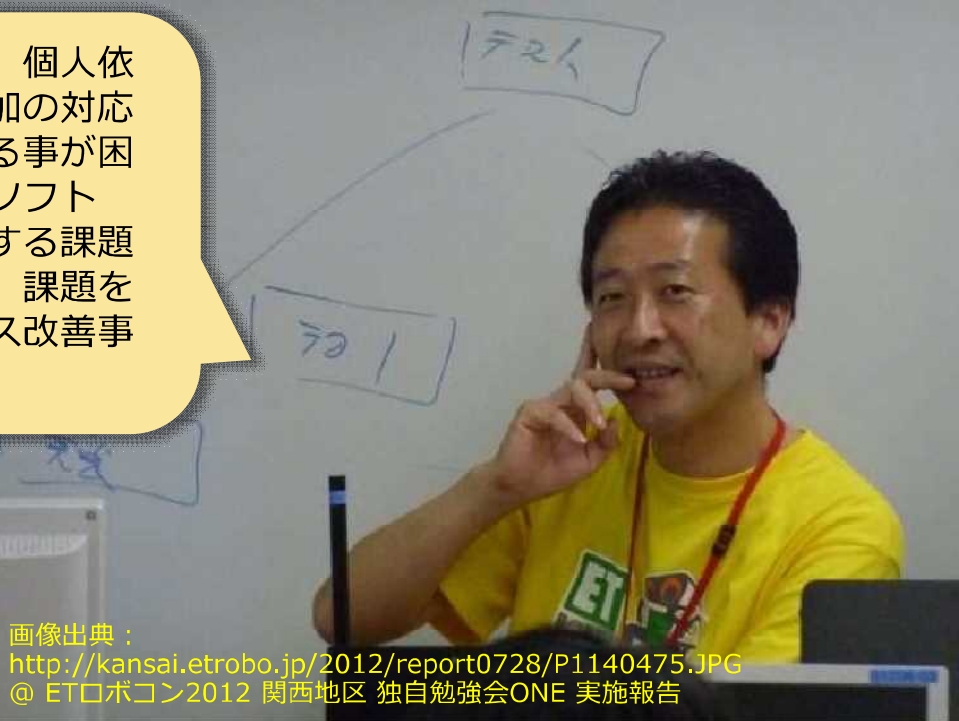
**\* 終了後に懇親会（自由参加）を実施します。**

# 講演：プロセス改善事例

- テーマ：「個人依存からの脱却によるプロセス改善事例」  
講師：岩橋正実氏（三菱電機メカトロニクスソフトウェア）

組込みソフトウェアの開発は、個人依存の開発になり、機能量の増加の対応と安定した高品質化を実現する事が困難になる傾向がある。組込みソフトウェア開発現場に置いて発生する課題の本質について解説した上で、課題を解決する技法を用いたプロセス改善事例について解説する。

本ご講演は、岩橋さんの職場での適用事例です。岩橋さんは永きにわたって 自職場ならびにグループ会社のソフトウェア開発プロセス改善に携わってこれ、現場へ適用する際に得られた知見を積極的に取り込んでプロセスだけではなく適用方法も改良されています。本ご講演の実践事例は、現場改善に取り組んでおられる方やこれから取り組む方にとって役立ちます。



画像出典：  
<http://kansai.etrobo.jp/2012/report0728/P1140475.JPG>  
@ ETロボコン2012 関西地区 独自勉強会ONE 実施報告

# テーマ案

## アンケート結果（2014年10月31日 19:00現在）

テーマ名	得票
第2期継続（人財育成の深堀）	7
第2期継続（人財育成の別観点の活動）	6
第2期継続（身の丈プロセスの深堀）	5
第2期継続（身の丈プロセスの別観点の活動）	4
上記以外	2

提案テーマ：

- ・ 地に足がついたメトリクスを用いた品質管理手法  
「地に足がついた」の視点：
  - 1.現場視点で取得し甲斐のあるメトリクス
  - 2.経営視点で追い甲斐のあるメトリクス(=KMI、KPIに結び付くメトリクス)
- ・ 品質保証部門の価値(在り方、キャリアパス、部門の業務品質)

# 活動テーマ検討

## ■ 本日の進め方

### 活動テーマに対するブレインストーム

- 各テーマに対する活動イメージを付箋紙に記載する。
  - とにかく、イメージ、連想するキーワードを記載する。
  - 活動を想像できるレベル。
  - 成果物、ゴールが想像できるレベル。
- 記載内容を分類する。
- 活動テーマ化する。  
具体化するのとは次回例会（11月度）にて

# 参考：部長の会テーマ案

- **アジャイル開発における品質保証**
- **欧州の品質保証活動との比較**
- **経営視点からのソフトウェア品質保証**
- **サービス品質（サービス部門、または、接客業としての品質保証）**
- **失敗事例集作成**
- **人財育成（品質意識醸成、品質教育プラン）**
- **設計品質向上策**
- **ソフトウェア品質保証の肝（品質保証の勘所の研究）**
- **超上流からの品質保証（要求獲得、要求開発からの品質保証）**
- **品質保証部門の価値（在り方、キャリアパス、部門の業務品質）**
- **ベストプラクティス集作成**

**(50音順)**

# 参考：第2期テーマ案

テーマ案	分類 1	分類 2	分類 3
各社の品質保証部門の抱える課題共有や事例紹介をし、その内容を討論する。	大方針		
ソフトウェア品質保証担当者の育成とSQuBOKの活用 技術的側面－品質保証の勉強を1から始める－	育成 育成	学習 学習	
どのような組織（プロジェクト）では、どのような品質保証・品質管理をすべきか。	研究・調査	プロセス	テーラリング
さまざまなプロセスモデルに対するソフトウェア品質保証	研究・調査	プロセス	テーラリング
そもそもプロセスはソフトウェア品質に貢献しているのか？	研究・調査	プロセス	
ソフトウェア固有の品質保証法とは？ ハードウェアの“ばらつき制御”と異なるアプローチ	研究・調査	プロセス	
ソフトウェアの最適な品質テストの仕方（仮）	実務品質部門 とテスト部門 （組織論）	品質観点テスト 技術	テストプロセス による品質 保証
デザインレビューの効率的なやり方 フロントローディングの割に手法が確立していない	実務	レビュー技術	
調達品（OTS/受託）に対するソフトウェア品質保証	実務	プロセス	受入テスト
品質管理部門を持たない中小企業でも明日から出来る品質への取り組み	実務	プロセス	テーラリング の一形態
一個人でも出来る品質を向上させる方法	実務	プロセス	テーラリング の一形態
ソフトウェアのプロジェクト計画とは？ 「組織的な改善の視点」のもの	研究・調査	プロジェクト	
火を吹いているプロジェクトの火消事例	実務		

# 会員資格と会員区分

■ “ソフトウェア責任者の会”の会員資格、会員区分は下記の通りとする。

- 会員資格：  
企業、学校、官公庁、および個人でソフトウェアの品質に責任を持つ者。
- 会員区分：  
会員区分は通常会員とML会員を設置する。それぞれの活動内容は下記の通りとする。
  - (1) 通常会員  
例会の研究活動とMLに参加して発言することができる。
  - (2) ML会員  
主にMLに参加して発言することができる。ただし、例会への参加ならびに例会での発言を禁止しない。

## ■ 附則

- 通常会員からML会員への変更またはML会員から通常会員への変更は会員の意志のみによる。
- 通常会員からML会員またはML会員から通常会員への変更回数の上限は設定しない。
- 例会でのセミナー資料はML、Web、およびSNSに公開しない。



# 今後の予定

詳細は追ってお知らせします

## ■ 第3期活動内容

- テーマ別活動
- 例会は月1回（原則最終週の水曜、または金曜）
  - 状況を見て土曜や月2回開催

## ■ 活動に先立ち

- メンバーの継続確認
  - 原則継続としますが、状況の確認をいたします
- 活動テーマ募集
  - 継続、新規、派生 案をお待ちしています
  - 提案され方はリーダーかそれに相当する役割をお願いします

## ■ やってみたいこと

- 参加メンバーによる“事例発表”
  - 会社のご都合もあるかと思いますので“可能な範囲”で
- その他の活動提案をお待ちしています

実施します

## ■ 準備委員（スタッフ）募集

- スタッフとして会の企画運営に参画いただける方を募集しています
  - 詳しくは現スタッフにお尋ねください

# 例会予定

回数	候補日(水、金)	内容	
1	2014年10月31日	キックオフ	セミナー
2	2014年11月29日	土曜半日開催：テーマ選定	事例紹介
3	2014年12月17日or19日	(年末のため変動あり)	セミナー
4	2015年1月28日or30日		事例紹介
5	2015年2月25日or27日		セミナー
6	2015年3月25日or27日	(土曜開催の可能性)	事例紹介
7	2015年4月22日or24日	(連休のため前倒し)	セミナー
8	2015年5月27日or31日		事例紹介
9	2015年6月24日or26日		セミナー
10	2015年7月29日or31日	(土曜開催の可能性)	事例紹介

セミナー：講師によるセミナー

事例紹介：メンバーによる事例紹介

講師または発表メンバーの都合によりスケジュールを変更する場合があります。